

第 67 号

発行所 〒157-8560
 東京都世田谷区成城 1-13-1
 東京都市大学附属中学校・高等学校内
 電話 03-3415-0104

発行責任者 安藤 友二
 編集責任者 清水 茂



東京都市大学附属中学校・高等学校〈同窓会ホームページ〉
<http://tcu-kasiwa.org/>

今までは、本校卒業生の皆様との唯一の連絡媒体として当会報「柏」の発行(年2回)をしていましたが、これからはHPからのご案内並びに通信となりますので会員登録を必ずお願いいたします。

新時代の教育

東京都市大学附属中学校・高等学校 校長
 同窓会 名誉会長

長 野 雅 弘



本校は校名の変更がありました。男子の教育に愚直に取り組んできました。その教育の一環を担ってくださり続けている同窓会の皆さんに感謝申し上げます。

さて、教育界は2020年以降に向けて大きく動き出し始めました。戦後最大と言われる大きな改革です。様々な変更がありますが、根底にあるのは「非認知能力を養うこと」です。非認知能力とはなんでしょう？簡潔に言えば、通知表評価(5段階)などの学力テストでは表せない、また50m走のタイムなど体力テストでは測定できないすなわち具体的に数値で表すことのできないものです。具体的に認知できない能力なので非認知能力と心理学では言われています。“性質”“気質”と言い換えてもいいのではないのでしょうか。教育心理学も私の専門分野なので専門家として熟知していますが、そうではない人にとっては「それって何？」でしょう。ここがまた、教育改革を複雑化している理由の一つだと思います。しかし、これがわかれば「そうなんだ！」といたってスムーズに理解が進み、大人としての行動がしやすくなります。

「好奇心を持つ」→「頑張ってみる(努力)」→「続けてみる(根性)」→「わかった!という喜びを得る」

上記の一連が求められる非認知能力です。心理学ではもっと段階が分かれていますが、大まかな柱となる部分で簡潔にしました。大人たちは子どもの手を引っ張って高みに連れて行くのではなく、「大人の学び続ける姿勢」を見せることや、「学ぶことは楽しいという姿勢」を見せることが必要になります。姿勢から醸し出される雰囲気から、子どもは「好奇

心」をもち、努力し始めます。学び続けると疲れてやめてしまいたくなります。そこで大人たちはそっと背中を押してあげたり、どうすれば打開できるのかを失敗から学ばせることが必要になります。

同窓会の皆さんにご協力いただいているキャリアスタディ・プログラムはまさに第一歩にあたる大事な部分です。ここで好奇心をもった生徒たちが次のステップへと進みます。重要な第一歩でのみなさんのご協力に感謝申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。

時代を先取りした東京都市大学附属中学校・高等学校の教育にこれからも参画していただきたく、2020年以降の教育にふれました。こういう恵まれた環境にいる生徒たちが、新しい教育のもとでも更に飛躍することを期待しています。

第60回

『柏苑祭』に集まろう!

日時 平成30年9月29日(土)・30日(日)
 場所 東京都市大学附属中学
 ・高等学校【同窓会の部屋】

- 卒業アルバム展示
- 退任した先生の講義(29日)
- 同窓生収蔵の絵画コレクションを対象に



洞察力をも培う芸術鑑賞法の一つの指標とは何だ/鑑賞者の異なった“価値観、から生ずる感性主体からの捉え方など。

《両日共に13時から30分程度》

同窓会『柏苑祭』
 担当：
 第14期生 清水 茂

還暦同窓会に 恩師と共に会場沸き立つ!



2018年5月26日(土曜日)にホテルサンルートプラザ新宿の1階「芙蓉」にて第24期生の還暦同窓会を開催致しました。

昨年の11月より準備を始めました。まず各クラスの世話人になって頂ける方にお声がけをし、事務局員とし準備・当日運営・企画・会計などお手伝い頂ける方を集い総勢17名で毎月会議を重ね当日を迎えました。

当日は、当時の担任先生であられました佐藤先生(C組)、小野寺先生(D組)、前島先生(E組)の3名も御来賓として参加して頂き同級生達も大変喜んでおりました。

還暦同窓会は、約80名の同級生に参加を頂き、過去最高の参加人数となったと聞きあたらめて参加頂きました同級生の皆様には感謝申し上げます。

当日のアトラクションとして乾杯後に卒業アルバムを中心に写真を編集・音楽を付け加え動画で流し同級生には大好評でした。また、BGMも70年代の音楽を中心に流させて頂きました。

2時間という時間も同時にタイムスリップし、

本年度(平成30年度)の 総会・懇親会について【予定】

価値観や環境の異なる年代を超える仲間同士の心の通うコミュニケーションを!

●開催日時 2019年5月25日(土曜日)
16時~19時30分

●会場 エクセルホテル東急・渋谷(6階)
プラネッツルーム

●会費 ¥6,000-※

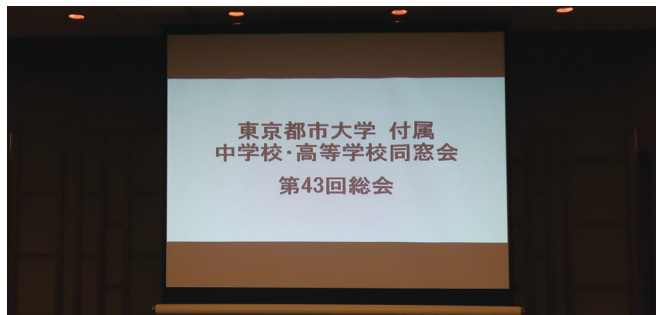
《同時開催の25期生/還暦の祝い・64期生/成人の祝い・35期生/同期会》ご参加の方は、※印の会費の他に別途会費の徴収がある場合があります。

是非、ご参集ください。詳細は、次号の第68号『柏』(来年2月発行)において。

あっという間に過ぎてしまい。次回は古希の祝いで再会することを誓い盛会のうちに閉会となりました。

最後に還暦同窓会をきっかけに地域やクラス単位でプチ同窓会が活発に活動している話を聞きまして大変に嬉しく思っております。

第24期 還暦同窓会 代表世話人
宮原 茂 (F組)



第43回 総会報告

◆日時：2018(平成30)年5月26日(土) 16:00~16:15

◆会場：ホテルサンルートプラザ新宿 1階 芙蓉

- 1 開会
- 2 議事録署名入選
- 3 議案事項

- 第1号議案 2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)活動報告
 第2号議案 2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)決算報告
 第3号議案 2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)活動計画承認
 第4号議案 2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)予算案承認

報告事項

- 1) キャリアスタディの昨年度実施状況
- 2) 青木良雅副会長が5月初めに逝去されたとの報告があった。

- 4 閉会

2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)活動報告

1. 2017年5月13日(土)に同窓会総会を開催した。
2. 会員の親睦を図るため、総会後の懇親会で成人の祝いを実施した。
3. 機関紙「柏」(65号、66号)を発行した。(HPにも掲載)
4. 同窓会規約(改訂版)を発行した。(HPにも掲載)
5. 母校の「柏苑祭」に参加し、同窓会賞を「エレクトロニクス研究部」に贈呈した。
6. 母校の「キャリアスタディ」に協力した。

2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)決算報告

一般会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内訳
入会金	2,240,000	2,240,000	64期生 224名
引継金	3,000,076	3,000,076	前期より
キャリアスタディ	1,300,000	1,379,742	
雑収入	300,000	437,036	預金利息,成人祝い参加費(55+17名)
合計	6,840,076	7,056,854	

一般会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内訳
会議費	300,000	196,512	理事会 6回
交通費	50,000	0	
総会費	50,000	80,726	会場費他
『柏』制作費	30,000	0	
通信費	49,000	33,924	柏 65,66号 (@120×248通) 他
印刷費	250,000	299,840	規約 400+300冊, 柏 65号 1,000部, 柏 66号 650部
発送アルバイト費	6,000	6,000	柏 65,66号 (248通)
事務費	30,000	24,161	
事務局活動費	70,000	24,000	
同窓会賞費	10,000	7,045	
小委員会費	200,000	212,018	成人祝い打合せを含む
名簿整備費	50,000	0	
柏苑祭費	75,000	35,363	
HP制作費	50,000	0	
会員交流補助費	1,250,000	1,008,452	成人祝い(参加費24+55+17名576,000を含む)
キャリアスタディ	1,300,000	1,301,800	
基金へ繰入金	500,000	500,000	
予備費	100,000	77,942	キャリアスタディ残金返却
繰越金	2,470,076	3,249,071	
合計	6,840,076	7,056,854	

基金会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内訳
繰入金	500,000	500,000	
引継金	0	0	前期より
雑収入	0	0	預金利息
合計	500,000	500,000	

基金会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内訳
取崩	0	0	
繰越金	500,000	500,000	
合計	500,000	500,000	

上記の通り 2017 年度会計報告いたします。

2018 年 5 月 26 日

会計 今井 章久 矢崎 克実

会計監査報告

前記会計内容を監査の結果、正しく表示、記載されていることを認めます。

2018 年 5 月 26 日

会計監査 長谷部 伸一

2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)活動計画

1. 年 1 回同窓会総会を開催する。
2. 会員の親睦を図るため、総会後の懇親会で成人の祝い及び還暦の祝いを実施する。
3. 年 6 回の理事会を開催する。(必要により、臨時理事会を開催する。)
4. 年 2 回機関紙「柏」を発行する。(HPにも掲載)
5. 同窓会規約改訂版を発行する。(HPにも掲載)
6. 母校の「柏苑祭」に参加し、同窓会賞を贈呈する。
7. 母校の「キャリアスタディ」に協力する。
8. メールマガジンを随時発行する。
9. 会員の親睦を図る企画を立案し実行する。

2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)予算案

収入の部

科目	予算額(案)	内訳
入会金	2,740,000	65期生 274名
引継金	3,249,071	前期より
キャリアスタディ	1,200,000	
雑収入	900,000	成人・還暦祝い参加費 (@6,000×150名)
合計	8,089,071	

支出の部

科目	予算額(案)	内訳
会議費	300,000	理事会 7回
交通費	50,000	
総会費	50,000	
『柏』制作費	30,000	編集委員会 2回
通信費	10,000	
印刷費	250,000	柏 67,68号各400部, 規約 300部他
事務費	30,000	
事務局活動費	70,000	
同窓会賞費	10,000	
小委員会費	200,000	
名簿整備費	50,000	
柏苑祭費	75,000	
HP維持費	50,000	
会員交流補助費	1,700,000	成人・還暦祝い (@6,000×150名を含む)
キャリアスタディ	1,200,000	
基金へ繰入金	500,000	
予備費	100,000	
繰越金	3,414,071	
合計	8,089,071	

基金会計(収入の部)

科目	予算額(案)	内訳
繰入金	500,000	
引継金	500,000	
雑収入	0	
合計	1,000,000	

基金会計(支出の部)

科目	予算額(案)	内訳
取崩	0	
繰越金	1,000,000	
合計	1,000,000	

2018年 キャリアスタディー企業研修報告

『国土交通省』

コーディネーター 小林 英世
サブコーディネーター 小林 英一

2018年のキャリアスタディー企業研修「国土交通省」は8月22日に行われ、18名が参加した。職員数約6万人の巨大官庁で、大臣官房広報課による企業研修の最初のプログラムは、様々な業務がどのような場面で我々国民の生活に結びついているのかの説明。パワーポイントの説明に、多少イメージができた様子がかがえた。

続いては自動車にテーマを絞り自動車局技術政策課による、自動車の安全や環境に関する課題、自動運転や電動化、国際的な動向に対する国土交通省としての考え方を解説したもの。中学生向きに多少易しくしたものの、内容は同省が現在取り組んでいる課題そのもの。企業向けのレベルの内容ながら、メモを熱心にとる姿もあり、難解な自動車技術行政を理解しようと取り組む姿に、心の中で拍手。

海の裁判所といえる「海難審判所」の見学は、なじみのない海難事故・事件を解決する仕組みは興味深かった様子。

コーディネーターとのディスカッションでは、学生時代にもっとしておけば良かったと思ったことはとの質問。反省の気持ちを込めながらできるだけ正直に答えた。

今年から附属出身で後輩でもある息子（弊社社員）が正式にコーディネーターとして登録されたため、2人体制となり、これまでより多少目配りが行き届くようになった。

国土交通省のキャリアスタディーは初回が2009年で、今回は10回目。毎年20人前後参加し、これまでに約200人が国土交通省の企業研修に参加した。初期の参加者はそろそろ社会人として歩み出している頃。皆、どのような道を歩んでいくのか、チョット気になる。



自動車技術行政のプレゼンテーション

訃報

青木 良雅 氏 (副会長)

今年5月に長年母校のキャリアスタディプログラムに支援して頂いた青木氏が逝去されました。

大成建設に勤め、退職後に同窓会を通して母校のキャリアスタディを強力に支援頂きました。

コーディネーターや研修先の企業の発掘など多方面に渡り、努力を惜しまない人でありました。

青木氏とは、理事会後や学校でのイベントや会議の後、成城学園前近くの喫茶店や居酒屋で、同窓会の今後のことやキャリアスタディについて語らった仲であります。大学が土木科で大成建設でのトンネル工事などの話をよくされていました。また、浅草近くの下町で育った方のせいか頑固で拳で会話をするような気質だったように思います。癌の手術をされ、糖尿病を患っていましたが、闘病生活をしながら、キャリアスタディの支援を惜しみなくされていました。貴重な人材を失い残念な思いです。故人の冥福を祈りたいと思います。

今井 章久 氏 (会計)

8月25日、突然に今井会計が逝去されました。同窓会の会計を一手に引き受けて頂いていただけに、これからの作業が大変ではありますが、理事会では佐々木事務局長に今井宅から同窓会の通帳や同窓会名簿などの資料を預かりに頂くことになりました。今後は、小委員会を立ち上げ資料整理や残高の確認作業に入ります。5月に青木副会長が亡くなった矢先に、同じ12期生の今井会計までも逝去されてしまい、貴重な人材を二人も失ってしまったことは、大変なことです。二人の冥福を祈るとともに、会員の皆様には、どうか同窓会にお力添えをお願い申し上げます。

会長 安藤 友二

編集後記

今号の巻頭文は、長野雅弘新校長に執筆をお願いしました。

長野校長は、「非認知能力を養うこと」の必要性を説いていらっしゃいます。そして、「キャリアスタディ・プログラムはまさに第一歩にあたる大事な部分」と評価していただいています。

私自身はコーディネーターとしてこのプログラムに参加して、長野校長の説明にある「好奇心を持つ」→「続けてみる(根性)」が重要だと毎回生徒に話していましたが、この説明が重要であることを改めて認識しました。

今後も、同窓会は積極的にキャリアスタディに協力してゆきますので、同窓生の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

同窓会理事 事務局長 佐々木 幹夫